



# 水俣病の教訓を 次世代に伝えるセミナー

## ～水俣病の経験を超えて・若い世代の挑戦～

平成  
24年

2月26日 13:00～16:30  
日

会場 東京ウィメンズプラザホール  
東京都渋谷区神宮前5-53-67

募集人数 150名

参加費 無料

主催 環境省

水俣病は昭和31年に公式確認されてから50年以上が過ぎましたが、水俣病問題は今なお大きな課題となっています。水俣病を経験した水俣市や新潟県では、この経験を語り継ぐ一方で、命や自然、環境と向き合って、街づくり・地域起こしを進める、新たな試みが広がっています。

水俣市は、もやい直しから、環境モデル都市として再生の道りを歩んでいます。そして、水俣・新潟それぞれに、これからの地域を支え、作っていく若者たちが、水俣病を自らの問題として受け止めながら、新しい動きをつくっています。これまでの道りを学ぶとともに、若い世代の活動を伝えることで、水俣及び新潟の魅力を再発見してもらう機会としたいと思います。

### プログラム

- 13:00～ 開会挨拶・水俣病を取り巻く現状について  
環境省 特殊疾病対策室 桐生康生
- 13:15～ 時代の証言 水俣病語り部講演  
水俣地域語り部 杉本 肇氏  
新潟地域語り部 山田サチ子氏
- 14:15～ 「もやい直しから「環境モデル都市」づくりへ」  
元・水俣市長 吉井正澄氏
- 15:00～ 「水俣の挑戦」  
あばあこんね 福田浩樹氏・高倉草児氏・澤井健太郎氏・井上章久氏
- 15:30～ 「新潟の挑戦」  
阿賀野川え～とこだプロジェクト  
山口庫幸氏・こっこ(紙芝居)
- 16:00～ 「みなまた環境大学カリキュラム提案賞の  
創設について」  
JNC株式会社
- 16:15～ まとめ 環境省
- 16:30～ 閉会



### 「あばあこんね」がマルシェに出店！

水俣の若者グループ「あばあこんね」の農家・農産加工業者が、セミナー当日、会場隣接地で開催する、ファーマーズマーケット@UNU(国連大学前広場)に出店します。水俣の無農薬栽培の柑橘やお茶、お米、こだわりのジャム・ドレッシングなどを販売予定。開催時間は10:00～16:00です。セミナーにご来場前に、ぜひ、立ち寄り、水俣の物産品を手にとってみてください。



## 講演者・概要紹介



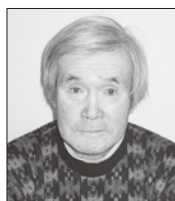
### 杉本 肇 (水俣市立水俣病資料館)

1961年1月18日生まれ。水俣病患者家族。母は杉本栄子さん(2008年死亡)。家族が水俣病になったときのこと、子どもの頃の生活、都会に出て水俣に帰ってきたこと、自分の身体の調子などを語る。無添加のいりこなど漁業を営む。2008年5月から水俣病資料館の「語り部」となる。水俣市袋在住。



### 山田 サチ子 (新潟県立環境と人間のふれあい館)

1935年北蒲原郡安田町(現阿賀野市)生まれ。実家は小舟を所有し、阿賀野川の魚を毎日食べていた。1964年頃からめまいやしびれ。2006年、報道をきっかけに受診して、初めて両親が認定患者だったことを知る。2009年ノーモア・ミナマタ新潟全被害者救済訴訟の原告となる。現在、新潟水俣病阿賀野患者会副会長。



### 吉井 正澄 (元水俣市長)

1931年水俣市(旧・久木野村)生まれ。1975年から水俣市議を連続5期務め、その間、議長を2期務める。1994年水俣市長に就任。2002年まで2期務める。就任直後、慰霊式での水俣病被害者への初めての公式謝罪により、水俣病問題を大きく前進させると同時に、「もやい直し」という言葉を提唱し、地域再生を推進した。

#### あばあこんね

水俣弁で「じゃあ、おいでよ」という意味の若手グループ。20～30代の水俣で生活する若者が業種をこえて自然発生的に集まって結成。水俣の元気(食・自然・暮らし・文化など)をメンバーが知り、水俣の内外に伝えていきたいとマルシェ(青空市場)や耕作放棄地の活用、水俣の風景・暮らしを切り取ったクリアファイルの企画・販売などに取組む。

#### 阿賀野川え～とこだプロジェクト

正式名称は「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病問題と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクト。

#### こっこ(紙芝居制作者)

阿賀町の若い女性3人組からなるグループ。様々な史料や現地を調べた上で、親しみやすい絵とわかりやすい文を心がけて紙芝居を制作。グループ名の由来は「漬け物」を意味する阿賀町の方言。これまで「草倉銅山物語」「阿賀野川物語」を制作。

#### JNCみなまた環境大学カリキュラム提案賞

JNC株式会社は、チッソ株式会社から事業を引き継ぎ、2011年4月1日に営業を開始。まち作りへの協力の一環として、エコジャパンカップと共催し、パートナー・コンテストに参加。2007年より水俣市が主催する「みなまた環境大学」のカリキュラムを募集した。賞創設の背景と大賞・準大賞の受賞団体について紹介する。

## 参加申込み方法

ホームページ(<http://mizumidori.jp/minamata/>)の参加申し込みフォームもしくは、FAX、メールにて、氏名・郵便番号・住所・電話番号を記載の上、お申し込みください。希望者多数によりお断りする場合があります。

## お問い合わせ・参加申込み先

### (財)水と緑の惑星保全機構

東京都港区西新橋1-1-3, 桜田ビル404C

TEL: **03-5468-8405** FAX: **03-5468-8406**

URL: <http://mizumidori.jp/minamata/> E-mail: [minamata2012@mizumidori.jp](mailto:minamata2012@mizumidori.jp)